

哲學研究

第五百八十五號

平成二十年四月十日發行

グローバル化時代における共同体の再想像に
向けて……………松田素二

真矛盾主義的一元論……………出口康夫

——後期西谷哲学の再編成——(上)

宗教哲学へ……………杉村靖彦

——「証言」という問題系から——(二)

ベルクソニスムと偶然性の問題……………三宅岳史

「単なる概念 (der bloÙe Begriff)」の二義性

——カントの「超越論的哲学」を理解するための

端緒として……………佐藤慶太

京都大學大學院文學研究科内

京都哲學會

京都哲学会規約

- 一、本会は広義における哲学の研究とその普及を図ることを目的とする。
- 二、右の目的のために左の事業を行う。
 - (一) 会誌「哲学研究」を発行する。
 - (二) 毎年公開講演会を開く。
 - (三) 随時研究会を開く。
- 三、本会の事業を遂行するために委員若干名をおく。委員会の中から互選により代表一名をおく。委員は京都大学大学院文学研究科の旧哲学科系所属教官の有志、および委員会において推薦したものに委嘱する。
- 四、委員会の中に「哲学研究」の編集委員会をおく。
- 五、本会は賛助員若干名をおく。賛助員は会員の中から委員会が推薦する。
- 六、本会は会員組織とし、会員には資格の制限を設けない。学校・図書館・其他の団体は団体の名を以て入会することができる。
- 七、会員は年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円（数冊分）を前納する。
- 八、会員は会誌の配布を受け会誌に予告する諸種の行事に参加することができる。
- 九、本会は事務所を京都大学大学院文学研究科内におく。
- 十、規約の改正は委員会の決定による。

福根中中徳出田杉櫻小氣川片落苧字伊伊伊板伊池芦蘆赤
 谷立村畑永口中村井林多添柳合阪美藤藤藤倉田田名田松
 研俊正宗康紀靖芳道雅信榮恵直文邦公和昭哲秀定 明
 茂介春志雄夫行彦雄夫子介一子行理武雄行二治三道宏彦

京都哲学会委員

* 松藤
 宮御水
 (* 京都哲学会代表)
 崎牧谷田田
 克雅素正和
 泉己彦二勝生

会 告

一、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けません。入会希望の方は京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学研究科内京都哲学会（振替口座〇一〇二〇一―四〇三九 京都哲学会）宛に年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円（数冊分）をお支払下さい。又会員への会誌送付、バックナンバー購入及び発売に関する一切は東京都千代田区麹町二一六―七創文社（振替口座〇〇一―二〇一〇―九二四七二）宛に願います。

一、会員の転居・入退会の事務及び編集事務の一切は京都哲学会宛に御通知下さい。

一、本誌の編集に関する通信・新刊書・寄贈雑誌等は本会宛にお送り下さい。

一、本誌への論文の投稿は、原則として本会会員のみ受け、掲載の可否については、編集委員会と編集委員会が委嘱した委員（若干名）の査読を経て、編集委員会が決定する。（本会主催の公開講演会の講演原稿の掲載など、編集委員会依頼による論文掲載については、この限りではない。）

京 都 哲 学 会

千六〇六一八五〇一
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科内
〇七五―七五三一―四四三

平成二十年 四月五日 印刷
平成二十年 四月十日 発行

編集兼 京 都 哲 学 会
発行人 京 都 哲 学 会
編集委員 水 谷 雅 彦
伊 藤 邦 武
赤 松 明 彦
櫻 井 芳 雄

発 売 所 株 式 創 文 社
久 保 井 浩 俊

印刷所 株 式 会 社 曉 印 刷
千一〇二一〇〇八三
東京都千代田区麹町二一六―七
電話 〇三―三三六三一七―〇一
振替 〇〇一―二〇一〇―九二四七二

註 文 規 定

一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、送料七
三円）前金にてお送り下さい。

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

NO. 585

April

2008

Articles

Reimagining the Community in the Globalized

World Motoji MATSUDA

Dialetheic Monism

— *Restructuring Later Nishitani (Part 1)* —

..... Yasuo DEGUCHI

Vers une « philosophie de la religion » d' aujourd'hui

— *A partir de la problématique du témoignage*

(1^{ère} partie) —

..... Yasuhiko SUGIMURA

Le bergsonisme et le problème de la contingence

..... Takeshi MIYAKE

Über die Zweideutigkeit des Wortes „der bloße

Begriff“ in Kritik der reinen Vernunft

— *für das Verständnis von Kants Transzendental-*

philosophie — Keita SATO

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-4 定価 2,625 円 (5%税込) 本体 2,500 円